

CGS等導入事例

事業所名 日野自動車株式会社羽村工場 さま

HP: <http://www.hino.co.jp/index.html>

【事業所概要】

敷地面積 751,000㎡

建物床面積 362,000㎡

- ・ HINO TOYOTA両ブランドの車両生産
および国内外へのユニットの供給

【補助対象設備】

- ・ CGS: 発電出力7,800kW × 1台

都市ガス

電力 + 温水 + 蒸気

- ・ 熱電融通インフラ 熱の融通

■ CGS導入に伴う実績

	2019年度実績	計画値(参考)	※の値はCGSのカタログから算出した値
対全電力需要	41.1%	45.6%	全体の電力需要に対するCGS出力割合
発電効率	42.7%	44.6%※	エネルギーを電力として取り出した割合
排熱利用率	16.5%	25.1%※	温水や蒸気の利用割合 (HHV)
総合効率	59.1%	69.7%※	発電効率 + 排熱利用率 (HHV)

■ CGS運転状況

平均運転時間 週5日・1日当たり20時間程度

■ 導入経緯

ガスタービンコージェネレーション設備の老朽化による効率の低下に伴い、ガスエンジン(発電出力7,800kW)コージェネレーションシステムに更新することで、既存のガスタービン使用時より省エネを図る目的で導入した。

■ 運用状況・今後の課題等

排熱利用の向上を目指し、新たに供給先を増やして、熱利用率、総合効率の向上を進める予定です。

■ 助成要件への対応

- ✓ BEMSによるエネルギーマネジメントを実施
- ✓ 一時滞在施設の設置(帰宅困難者の受入れ)、周知
- ✓ (再生可能エネルギー機器の導入)

利用助成金: 東京都「スマートエネルギーエリア形成推進事業」(平成29年度申請、平成30年度工事完了)